

宇宙NOW

No.169 4
2004

Monthly News on Astronomy and Space Science

2 m望遠鏡 ファーストライト成功!!



おもしろ天文学：火星から来た隕石 今栄直也（国立極地研究所）
パーセク：ホテルに星に動物の目 さよう動物病院 依田吉充
新シリーズ新天文台探検：第1回 大黒柱（前）圓谷文明
新星めぐりの詩：恒星にも大陸？ りょうけん座 鳴沢真也
from 西はりま：2 m望遠鏡ファーストライト!! 圓谷文明
ゴールデンウィークに二つの彗星と皆既月食：時政典孝

兵庫県立西はりま天文台公園





パーセク

ホテルに星に動物の目



依田吉充

思えば23年前、転勤で初めて西播磨の地を踏むこととなり、以来仮住まいから自宅を建て佐用に居住しています。

川沿いの住宅に転居してきた初夏の夜、窓から川面を見るとなにやら怪しい光。ホテルとの出会いでした。支流の少し奥に入るとそこはホテル

の宿。子どもの頃祖父から「ホテルは簞(ほうき)で掃くように取るもんや」と聞かされていた状況がまさに目の前に……。親兄弟に連絡。それ以来毎年誰かが鑑賞に来ています。

冬の寒い夜、山の上の牧場で牛の難産の仕事を終え、着替えながら伸びをする。満天の星空。それこそ手が届くように見えた。子どもが小さいころは天文台のロτζジを申込み、数家族でバーベキューを囲み、楽しく夜空を見上げたことも……。

日々動物相手の仕事をしていて感じることは、彼らの表情の豊かさです。

言葉を発しない分、彼らは全身で、そしてその愛らしい目で気持ちを訴えてくるように感じます。「痛いところに触れるなよ。かむぞ！」とか「しんどいから何とかしてよ」など……。元気になってきたら「お前なんかもう関係ないよ」というような光り輝いた目を見せてくれる。

ホテルに星に動物の目。見た目には違った小さな輝きですが、自然のダイナミズムや、動物の優しさが隠されているように思えます。だからこそこんな小さな輝きが人の心をいやしてくれるのではないでしょうが。

小さな輝きがいつまでも失われることのない環境を残していきたいものです。

(よだよしみつ/さよう動物病院 獣医師)

シリーズ

新天文台探検

第1回 大黒柱（前）

圓谷文明



写真1：ピラーと呼ばれる新天文台で最も太い柱。覆（おお）いがされていて、柱のコンクリートがむき出しになっていないことに注意

6回シリーズで、新天文台について説明していきます。今回は新天文台の中で一番太い柱についてのお話です。エンクロージャー（ドーム）のある観測棟の中心で支えるように立っている柱（写真1）をピラーと言います。この柱の上に2メートル望遠鏡がすえつけられ、地中につまっている部分もかなり大きなコンクリートのかたまりです（図1）。これだけの柱ですが、意外なことに、天文台をささえるのには何の役にもたっていません。建物とは全く



写真2：ピラーの上端部。上は望遠鏡設置前に撮ったピラーの上面。金属の円盤で建物の床とつながっているように見えるが、実は下を見てもらえばわかるように床と円盤の間には隙間が空いています

つながっていないのです。写真2は望遠鏡設置前に撮ったピラーの一番上の部分です。金属の円盤で建物と一見くっついていますが（上）、よく見ると円盤と建物の

床にはわずかに隙間（すきま）があるのがわかります（下）。建物の振動が望遠鏡に伝わるのをふせぐためです。（つむらやふみあき／主幹研究員）

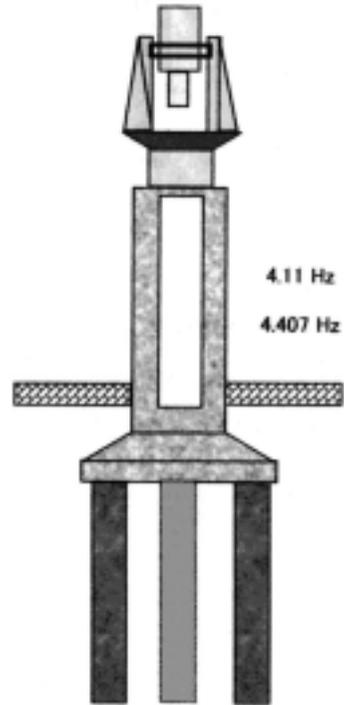


図1：ピラーの構造。地中に打たれた杭の上にコンクリートの固まりがあり、埋まっている部分も含めるとかなり大きなものである。地上に出ている柱の上に2メートル望遠鏡が乗る

火星から来た隕石

今栄直也

はじめに

2004年早々にアメリカの探査機2機が、火星に着陸し、風景や分析データを送ってきました。その風景からは、平原が広がり、大きな岩石を含む砂漠であることがわかります。中には、角がとがって、表面が凹んでいる形の岩石があり、風化を受けたことを示唆しています。これは砂塵による風化であることが予想できます。流水痕はこれまでに多くの地域で見つかっています。最近では、硫酸塩（鉄みょうばん）が多量に存在す



図1: 火星を探索中のマーズ・エクスプロレーション・ローバー (NASA)

るとの発表がありました。この鉱物は、水の関与する環境で風化生成によってできる特徴的な鉱物です。こうしたことから火星に水がかつて存在したことが想像できます。

我々はまだ火星の岩石を持ち帰ってはいません。しかし、隕石として入手しています。これを用いることでも火星の地質学的研究ができます。ここでは、火星から来た隕石について紹介します。

隕石とは

一般に、隕石は、地球外から地球表面へ落下した大きさが数ミリ以上の固体物質のことを言います。隕石は宇宙空間から地球へ落下する際に大気との摩擦により表面が融けます。隕石にはこの痕が表面に残ります。溶融皮殻（ようゆうひかく）

と言います。これが隕石の最大の特徴です。

我々は、現在4万個（合計約100トン）の隕石を入手しています。その最大は、約



写真1: 隕石探査へ向かうルート上にて



写真 2: 隕石探査中の雪上車

60トンの鉄隕石ホバ隕石です。これは、アフリカのナミビア砂漠で発見されました。一方、南極から1グラム以下の小さな隕石を含むわけて

性元素に着目した年代測定から、一致して今から約45億年前に生成したことが分かっています。これくらい古い年代は地球の岩石からは見

多量の多種の隕石を効率良く採集でき、約3万個は南極隕石です(写真1、2、図2)。

隕石はその大部分が火星軌道と木星軌道との間にたくさんある小惑星帯から飛来してきていると考えられています。

そうした惑星物質である隕石は、太陽系の起源を探る上で鍵となります。なぜならば、こうした隕石の大部分は、放射

つからず、太陽系誕生時の年代に相当すると考えられています。その理由は、光学観測により測定した水素やヘリウムなどガスとして安定な揮発性元素を除いた太陽大気組成が、隕石中の元素存在度とたいへんよく一致するからです。すなわち、隕石は、太陽とともに惑星が誕生したその当時のことを凍結していると言えるのです。こうした隕石は、コンド

ライトと呼ばれるしており、さまざまな種類があります。その他の隕石は、天体において溶融を経て形成した隕石で、玄武岩質隕石や鉄隕石など多様な種類が見つかります。その中に火星から飛来した隕石が含まれます。

火星からの隕石
火星隕石は、現在世界で約30個が知られています(全量

火星からの隕石

30個が知られています(全量

で約50キログラム弱)。「隕石が火星から飛来した。」とはどのようにして知ることができるのでしょうか?
1970年代にバイキングという火星探査機により火星

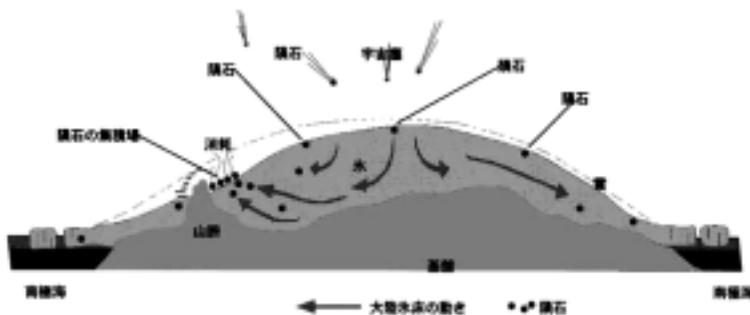


図 2: 隕石集積のメカニズム

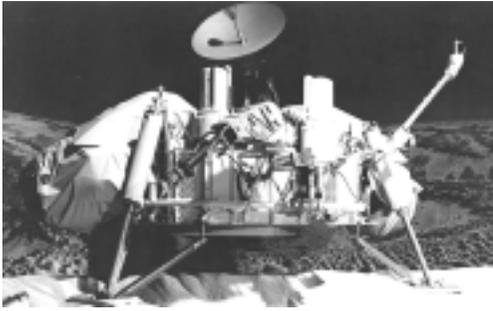


写真3:バイキング着陸機(NASA)

大気や火星表面の多様な分析が詳しく行われました。火星表層には、全圧が約10ヘクトパスカル(地球大気の100の1)の二酸化炭素を主とした大気が存在します。マグマから固化する時に大気成分を閉じ込め、火星隕石中の鉱物の粒間などに残されま

す。こうしたガスを実験室で、破碎や溶融することにより抽出・分析することで、その存在度を正確に求めることができます。こうして求められた多様なガス濃度の割合が、バイキング探査機(写真3)により測定された大気のそれとよく一致したことに基づいて、こうした隕石が火星起源とされるようになってきました。

大部分の火星隕石の共通する特徴は、46億年というコンドライトの形成年代よりもずっと若いことです。例えば、火星隕石の中でナクライトに分類される隕石はいずれも13億年という年代を示します。これは、13億年前に火星表層付近でマグマを作る火成活動があったことを示しています。隕石をもたらした小惑星の天体は、もともと火成活動がなかったか、あっても長く続きませんでした。火星は、火成活動が長く続いたことを示しています。現在は火星に火山活動は観測されていません。

火星隕石には、シャーゴツタイト、ナクライト、シャシナイトという三つの種類が知られています。「生命体の痕跡」と話題になった南極で見つかった隕石アランヒルズ84001は、そのいずれにも属さない新しい種類の火星隕石です。

シャーゴツタイトは、火星表層で固結した玄武岩で、火星隕石としては、最も多く産出します。ナクライトは表層地殻の地下で固結した輝石という鉱物を主成分とする沈積岩です。沈積岩は、マグマから析出した結晶がマグマの底に沈澱した後に固結した岩石のことで、大きな重力場の存在を意味しており、このことから比較的大きな天体起源であることを示唆します。シャシナイトは、地下深部で固結



写真4: 13.7Kgある火星隕石(Yamato 000593)

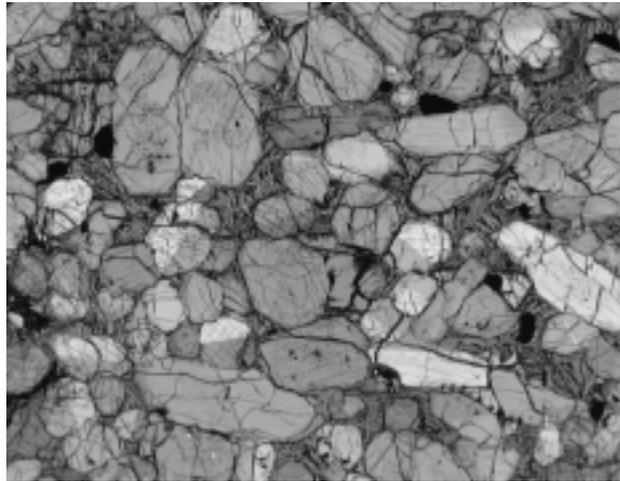


写真5: 写真4の光学顕微鏡写真。1辺5mm

したかんらん石からなる沈積岩で、これまで一つしか知られていません。

ナクライトからわかる
火星の水の証拠

ナクライトはこれまで、8
個知られています。脱出後に

宇宙空間で生成する短寿命の放射性元素に着目した分析から、その全てが、およそ1000万年前に火星から飛び出したことがわかっています。従って、同一地域から一回の衝突現象で出てきたと考えられています。これらの隕石は、宇宙空間を長年漂った後に、い

ろな時期に地球のいろんな地域に落下しました。その中で、2000年11月に南極やまと山脈裸水帯で見つかったナクライトは三つあり、それぞれ13.7 kg、1.3 kg、22 gです。このうちの最大は、ナクライトの中でも最大、また南極からは初めての発見で

した(写真4サイコロ一辺1センチ)。ナクライトには、輝石の他にかんらん石を少し含まれます(写真5:横一辺5ミリ)。このかんらん石の縁や割れ目には粘土鉱物が多産します。粘土鉱物は、水酸化鉱物のことで、鉱物内部に水を取り込んでいます。こうした水酸化鉱物は、マグマが結晶化するときには直接形成されず、その後、二次的に形成されます。つまり、火成岩がいつたんできた後、その岩石が水と反応してできたと考えられます。また、地球へ落下後形成された粘土ではないことも証明されています。このことから、火星にかつて水が存在したことがわかります。粘土鉱物には多様な種類があつて、その種類から生成条件を推定できます。ナクライトに観察される粘土鉱物は100以下の液体の水と反応して形成されたことが推測されます。すなわち、高温の水蒸気や熱水条件という極端な環境でなく、現在の温暖な地球表層に類似した環境下でできたと考えられます。

(いまえなおや/国立極地研究所)



写真6: 隕石探查出発の日、昭和基地にて撮影。一番左が筆者

2 m 望遠鏡ファーストライト!!

園谷文明



ファーストライトの瞬間！朝日新聞提供

多くの報道陣の
見守る中、西はり
ま天文台スタッフ
は記念すべき瞬間
を期待しながら
ディスプレイに注
目していた。天候
は薄曇り。ところ
どころに星の光を
おおいかくす曇も
見られた。

最初はトラック

「ピントを調整してしまし
う」と開発リーダーが自らハ
ンドセットを手に取った。黒
い画面上にあわく、ゆらゆら
と動くシミのようなものが見
えてきた。「あつた!!そこそこ
!!」指さした場所をみんなが
のぞきこむ。そして数秒。副鏡

ング(追尾)の楽
な北極星。眼視
観望装置の簡易
(かんい)カメラ
ポートに取りつ
けたカラービデ
オカメラでねら
う。「望遠鏡が北
極星に向いた」
と制御系(せい
ぎよけい)開発
チームの一人が

を動かし焦点が定
まるにつれ、その
光はだれの目にも
明らかとなった。
「成功だ!!」拍手、
そして握手。2
メートル望遠鏡は
十数分の一度とい
うビデオカメラの
視野に一発で北極
星をとらえてい
た。

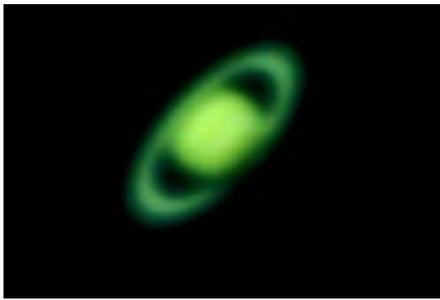
続く土星も難な
くとらえることが
できた。それなり
に細部も見えてい
る。

ハイライトは超
高感度ハイビジョンカメラの
試運転だった。望遠鏡をオリ
オン星雲(トラペジウム)に
向け焦点を合わせる。超高感
度素子(ちようこうかん)そ
し(の焼きつきに気をつけな



2m 望遠鏡 + 超高感度ビデオカメラがとらえたオリオン大星雲。
モニターでは星雲の一部が赤く見えていました

がらゆつくりと感度ボリユー
ムを上げていく。三分の一ほ
ど回したところで星雲がボ
ワツと色あざやかな姿をあら
わした。
「すごいすごい!!」口々に感



2m + 眼視観望装置による土星。カッシーニの空隙や縞模様もわかります



2m + 超高感度ビデオカメラによる子持ち銀河。渦巻の細部も写っています



自分が研究しているオリオン大星雲の様子を取材陣に熱く解説する森研究員。興奮していました

動の言葉がもれる。森研究員は自分の研究対象ということもあって、画面にうつる星雲の細部を興奮(こうふん)気味に解説していた。聞き入る報道の方々。こうして西はりま天文台2メートル望遠鏡は産声をあげた。(つむらやふみあき・主幹研究員)



ファーストライトを喜ぶ天文台スタッフと望遠鏡開発関連メーカーとの記念撮影

新

星めぐりのうた

恒星にも大陸？

りょうけん座 鳴沢真也

二匹の猟犬

うしかい座が自分の牛を守るために飼っている二匹の犬。それがりょうけん座だと言われています。星座の配置を見ると、二匹の犬が追いかけているのは、おおくま座であることがわかります。

チャールズ2世、ばんざい！

イギリスで革命が起こった1649年、国王チャールズ1世はギロチンで処刑されて

しまいました。息子は、フランスに逃げました。しかし後に王制が復古したので、30歳

にもどり、イギリスおよびアイルランドの王様となりました。国王チャールズ2世です。

チャールズ2世がイギリスに戻る前夜（1660年5月29日）、待医チャールズ・スカボローは、りょうけん座アルファ星が異様に輝いているのを目撃しました。

チャールズ2世は1675年にグリニッジ天文台を創設し、1685年に世を去りま



りょうけん座。左は飼い主のうしかい座。二匹の猟犬はおおくま座をおいかけています（フラムスチード天球図譜より）

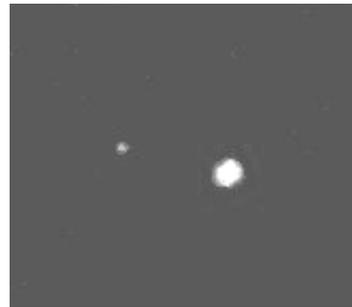
した。グリニッジ天文台の第2代台長になったのはエドモンド・ハレー、そのあのハレー彗星で有名なハレーです。ハレーは、スカボロー医師の話にもつき1725年、りょうけん座アルファ星に「コル・カロリ」という名前をつけました。これはラテン語で、チャールズのハート」という意味です。まあ、日本的に言えば、「チャールズ2世、ばんざい！」といったところでしょうか。チャールズ2世はハレーのよき理解者だったようです。



グリニッジ天文台創設を命
じたチャールズ2世
の面には、この様な元素は少
ないのですが、コル・カロリの

主星は白い色をしています
が、伴星の色については、見る
人によって、「淡いオリーブ
色」、「淡い黄褐色」、「淡い銅
色」と様々に表現されていま
す。主星と同じ色だと言っ
ている人もいます。さて、読者
のみなさんには何色に見える
でしょうか？ 観望会に來ら
れて確認してみませんか？

ダブルスター「コ ル・カロリ」



二重星コル・カロリ

恒星にも大陸？

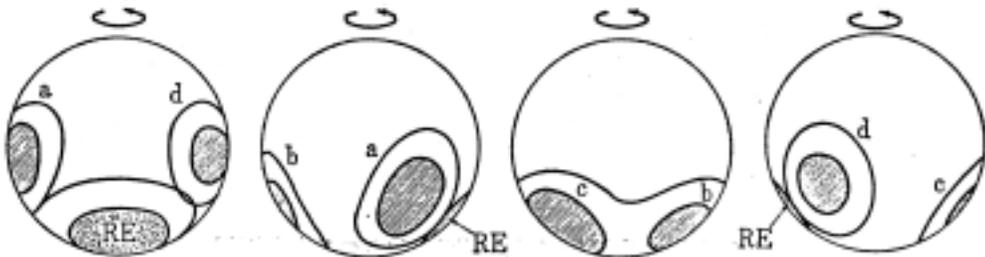
主星表面には、この様な元素
が多いことが知られています。
しかも詳しい観測により、あ
る特定の元素が星の表面に集
まって、まるで大陸のようにな
っていることも知られていま
す。この様な星は、他にも知
られており、「特異星」と呼ば
れています。いかにも変わっ
ているようなネーミングです
ね。

コル・カロリは、特異星の代
表例なのですが、スカボロー
医師の目撃談は、今となって
は、本当かどうかわかりませ
ん。

さて、この特異星には、まだ
まだ謎がいっぱいです。2
メートル望遠鏡の活躍が楽し
みですね。

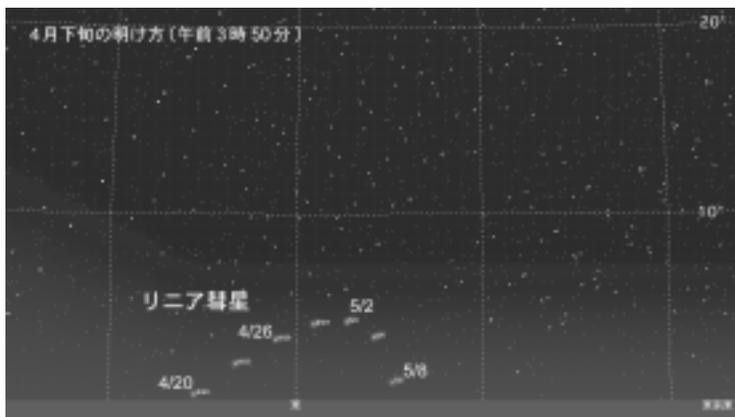
(なるさわしんや・

主任研究員)

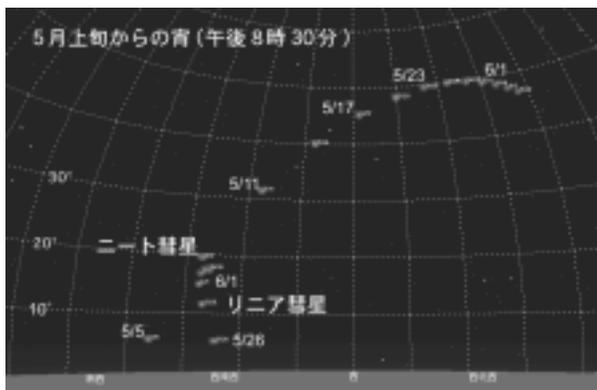


コル・カロリの主星表面。左から右へ見ている角度が90度ずつシフトしています。a,b,c,dは鉄、チタン、クロムの4大陸。REと書いてあるのはエウロピウムやガドリニウムの大

ゴールデンウィークに二つの彗星と皆既月食



4月下旬から5月上旬の早朝、東の空に見られるリニア彗星の位置。西はりま天文台における午前3時30分。下の図とともにステラナビゲータ Ver2 より



5月の宵、西の空に見られるニート彗星とリニア彗星の位置。西はりま天文台における午後8時30分



2000年7月16日に観測された皆既月食。モノクロでは満月のように見えますが、実際は赤く暗い月の写真となっています。
石田俊人副天文台長撮影

今年のゴールデンウィークは天文現象で楽しめそうですよ。

2つの彗星

まずは、彗星です。2つの

うち一つは、LINEAR(リニア)彗星

(C/2002 T7)。もう一つはNEAT(ニート)彗星(C/2001 Q4)です。

同じ時期に2つの明るい彗星が楽しめるのは、とても珍しい事です。

残念ながら、どちらも、7年前に話題となったヘル・ボップ彗星ほど明るくならないようです。しかし、双眼鏡では美しい尾を見る事ができるでしょう。

朝焼けの中の皆既月食

もう一つは、月が地球の影に入る皆既月食です。5月5日の早朝午前3時48分、西に傾いた月が欠け始めます。月がすっぽり地球の影に入るのは4時52分です。月が西に沈むのが西はりま天文台公園で5時6分です。皆既中は、薄明が始まっているので、ちょっと雰囲気は違っ皆既月食が楽しめそうです。天文台公園では、この日朝3時からリニア彗星と月食の観望会があります。

(時政典孝/主任研究員)

また会う日まで



丸山恵子(事務員)

この一年間、通勤途中の山道では、様々な野生動物に遭遇するなど、忘れていた身近な自然を再発見することができました。

そして、新しい天文台がみるみるうちに出来あがっていく様子を、実際に見ることができました。

公園内の仕事も雰囲気も、初めて来た時から変化しつつあります。私自身については、新天文台のスケールにはおよびもしないけれど、

自分では少しは成長したかなあと思います。

私自身、ここで培ってきたことをこれからの自分の夢や目標に、もつともつと成長していきたいと思います。本当にお世話になりました。

坂本愛(事務員)

この天文台は昔からよく遊びに来ていましたが、まさか自分がここで働けるとは思っていませんでした。いろいろなバイト等をしてきましたが、ここほどいろんな仕事のできる職場はさすがにありませんでした。

この公園での仕事は普通の事務の他にも、公園イベントがあり、天文台イベントがあり、その他にもいろいろあって楽しかったです。

いろいろとお世話になり、ありがとうございました。

はじめまして



内藤博之

内藤博之(嘱託研究員)

西はりま天文台に来て二つの新しい出会いを楽しみにしています。一つは夜空に輝く新しい星との出会い。もう一つは西はりま天文台にお越しになる皆さんとの出会い。皆さんと一緒に星をみる日が待ち遠しいです。

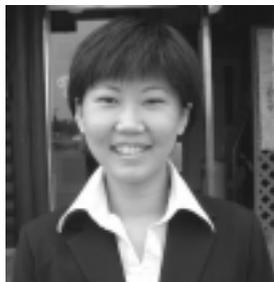
太井義真(嘱託研究員)

友の会例会などでよくお世話になっていましたが、4月から天文台で働くことになりました。星空の美しさや宇宙のおもしろさを多くの人たち



太井(たい)義真

に伝えていけたらいいなと思っています。これからよろしく願います。



友本晴美

友本晴美(事務員)

この西はりま天文台には秋から2メートル望遠鏡が公開されるので、今から楽しみです。

仕事の方では、お客様が楽しく過ごせる様になりたいと思います。

2日(火)構内LAN打合せ。
2メートルファーストライト打合せ。
3日(水)全国科学博物館協議会総会、黒田、森本参加(人と自然の博物館)。
4日(木)全国科学博物館協議会研究発表大会に参加。天文台スタッフミーティング。
6日(土)天体スペクトル研究会(美星天文台)に黒田、鳴沢、尾崎参加、発表。彗星会議(長野県安曇野)に森、参加、発表。
7日(日)(財)兵庫県予防医学協会、神戸新聞社主催「いきいきライフセミナー」(住吉・うはらホール)で講演、「宇宙と私たちの生活」。
8日(月)午前中、一部事務組合定例議会、終了後に新天文台、望遠鏡見学案内。尾崎、爆発的星形成銀河に関するゼミで京大へ。
9日(火)3波長同時観測近赤外線カメラ設計会議に黒田、圓谷、東大駒場へ、県から五明田課長補佐同行。
10日(水)2メートル望遠鏡のエンジニアリング。



ファーストライトと愛称募集をプレス発表。
11日(木)三菱電機2メートル望遠鏡製作スタッフと天文台スタッフ交流会。
13日(土)スペースガード協会関西支部集会以講演「2メートル望遠鏡とその運用」(神戸)。夜、友の会例会。
14日(日)天文講演会を担当「宇宙に水を追って」30名聴講。
15日(月)超高感度カラーVTRカメラ納入、調整。
16日(火)エンジニアリング・ファーストライトに成功、取材陣に公開。
18日(木)午後、CSR活動ネットワーキング委員会(神戸)に参加。サンケイ新聞社、2メートル望遠鏡取材。
19日(金)天文台コロキウムは東大地物・志村玲子さんの「地殻内板状マグマ溜りの熱組成進化過程」。夕刻、新規採用する天文台研究員選考委員会を開催。
20日(土)志村玲子さん、放射光の岡田さん、森本、黒田、上郡、三軒家」で昼食会。
21日(日)日本天文学会公開講演会に森本、黒田参加、終了後、名古屋科学館スタッフらと交流会。交流会には坂元、森らも合流。時政、明石親子劇場主催の講演「宇宙の広がり」(明石市生涯学習センター分室)。
22日(月)日本天文学会春季年会(名古屋大学)、森、時政が発表。夜、森本、黒田、ペルーの石塚睦氏を囲んでの夕食会。
23日(火)天文台研究員採用事務手続き等で繁忙。
25日(木)共同通信、2メートル望遠鏡ファーストライトの取材に。上郡ミニコミ紙「瓦版ハオバ」山口さん来園。圓谷、時政、田村、島

根県立三瓶自然館のミュージアムシヨップ視察に。
26日(金)夕刻、姫路市芸術文化賞授賞式、文化交流会に出席、明珍宗理氏の受賞を祝う、姫路市長、切り絵作家・岩田健三郎さん等とも懇談。
27日(土)インドの天文学者Dasさん、近大・湯浅さんと来台。石塚睦さんら来台、2メートル望遠鏡と新天文台設備に驚嘆。鳴沢、コンタクト・ジャパンに「2メートルで宇宙人を探す」と題して講演。
29日(月)臨時事務職員の採用試験。サテライトアドームのスリット閉まらず。
30日(火)圓谷、尾崎、2メートル用可視冷却CCDカメラ検査で箕面のIK技研へ、県より竹田主査同行。佐用町議・井上さん、北条県議を伴い2メートル望遠鏡見学に。
31日(水)臨時事務職員の丸山さん、坂本さん退職、離任式。黒田、石田、圓谷も一部事務組合退職辞令を受ける。



天文台 NOW

#は友の会会員のみなさんだけへのお知らせです。

四つ葉のクローバーパウチ

天文台公園内で見つけた四つ葉のクローバーをパウチサービスします。じゃんけん大会でほしまる君に勝った方には粗品進呈。

日時：5月1日(土)～4日(火)

午前10時～午後3時頃

内容：クローバーパウチ、妖精探し、風船プレゼント、じゃんけん大会

申込：不要 参加費：不要

春の大観望会

日時：5月2日(日)午後6時～9時(予定)

内容：星の話。観望会、天文クイズ大会など
観望天体：木星、プレセペ星団など

受付：天文台ホールで当日午後5時から6時

申込：不要 参加費：不要

皆既月食特別観望会

日時：5月5日(水)午前3時～午前6時(予定)

内容：皆既月食とリニア彗星の観望会

申込：不要 参加費：不要

その他：悪天候の場合は中止します。

#第85回友の会例会

日時：5月8日(土)18:30(受付)～9日(日)午前

内容：見どころクイズ、観望会、天文台長のお話、会員タイム、交流会など

グループ別観望会：

A：流星を待ちながら、星の名前を覚えよう

B：一眼レフデジカメで星野写真を撮ろう

C：60cm望遠鏡の使い方を覚えよう

費用：宿泊250円(シーツクリーニング代) 朝食500円

申込方法：申込表(下表参照)を参考に以下で

電話：0790-82-3886、FAX: 0790-82-3514

電子メールSubjectに「May」と記入し、

アドレス「reikai@nhao.go.jp」へ

申込締切：家族棟(別途料金必要)4月17日(土)

グループ棟泊、日帰り参加5月1日(土)

例会参加申込表

会員No.	氏名		
宿泊棟	家族用	ロッジ	グループ用
	大人	こども	合計
参加人数	()	()	()
宿泊人数	()	()	()
シーツ数	()	()	()
朝食数	()	()	()
部屋割	男()	女()	家族()
グループ別観望会	「(A,B,C)」に参加		

第125回天文講演会

日時：5月9日(日)10:30～12:00

場所：天文台スタディールーム

講師：石田俊人(副天文台長)

題名：「新・星めぐりの詩」裏話

内容：まもなく50回になる宇宙NOWの「新・星めぐりの詩」。石田が執筆を担当した中から、いくつかの星座をピックアップして、紙面スペースの都合で割愛した話題を復活させながらお話しします。

金星太陽面通過特別観望会

6月8日(火)午後。詳細は次号にて。

第126回天文講演会

日時：6月13日(日)14:00～15:30

場所：天文台スタディールーム

講師：小久保英一郎氏(国立天文台)

題名：太陽系の誕生・原始惑星系円盤から惑星へ

2m望遠鏡の愛称募集

2m望遠鏡を広く人々に親しんでいただくために、西はりま天文台公園では2m望遠鏡の愛称を募集いたします。

愛称のイメージ：国内最大・公開施設としては世界一の口径2mの望遠鏡。楽しみながら宇宙について学べる、新しい望遠鏡。未来への展望を感じさせ、親しみやすく覚えやすいもの。

応募方法：はがきまたは電子メール

住所(郵便番号)、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号をご記入ください。一人一点のみで、愛称の意味や理由も記載してください。

応募先：天文台公園2m望遠鏡愛称募集係
電子メールの場合：2m-aisho@nhao.go.jp

(題名に「2m愛称募集」と記入)

問い合わせ先：西はりま天文台公園

入選賞品：最優秀賞、優秀賞、佳作

締切：平成16年5月17日(月)当日消印有効

審査：平成16年6月 発表：平成16年7月

その他：入選作品は、西はりま天文台公園のホームページ、報道機関などから発表します。入選作品の該当者は別途通知しますが、応募者全員への通知は行いません。受賞された名称の一切の権利は兵庫県に属します。応募作品の著作権などに関する問題が生じた場合は、全て応募者の責任となります。

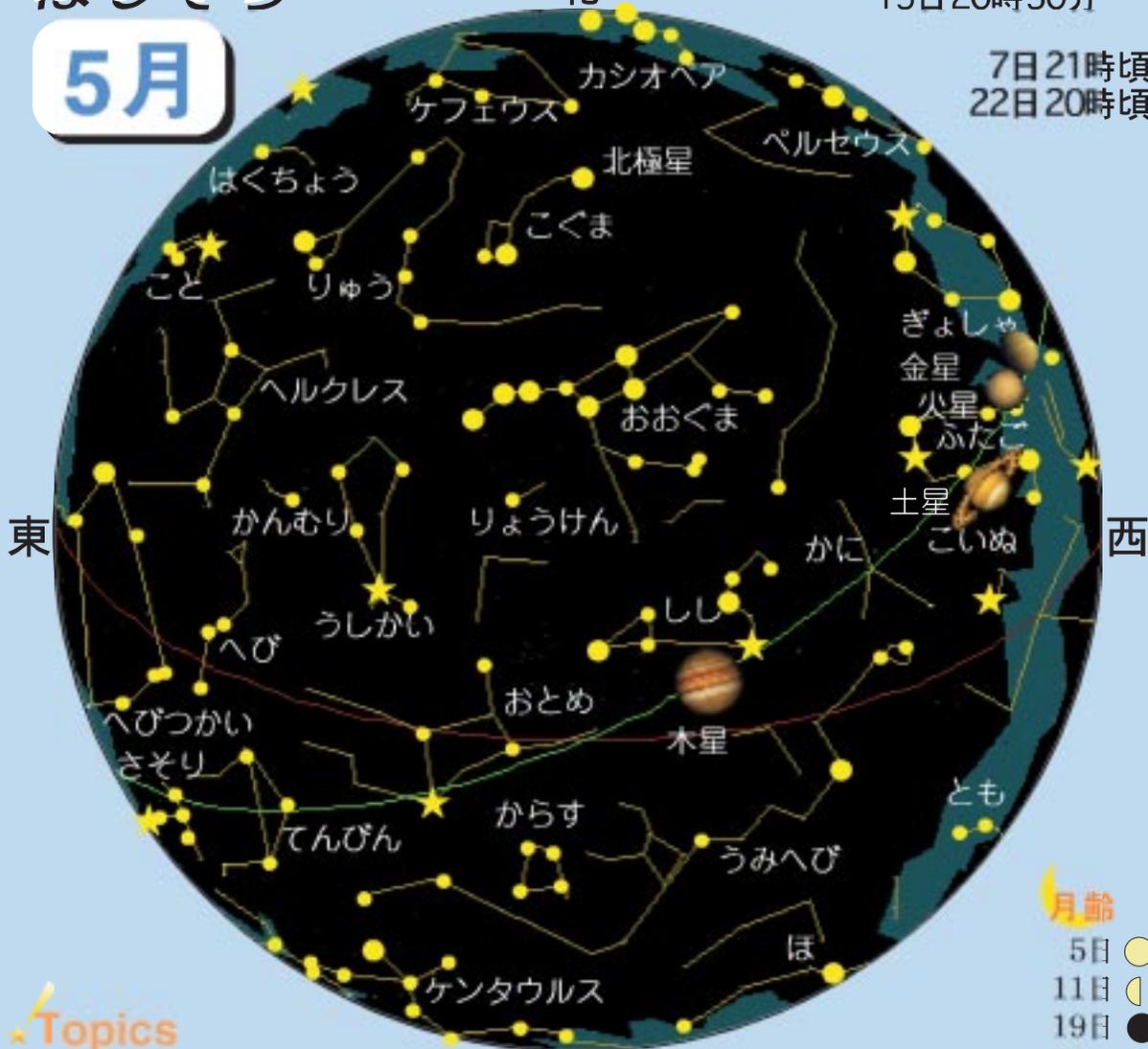
ほしぞら

北

15日 20時30分

7日 21時頃
22日 20時頃

5月



★Topics

- 2日 金星が最大光度
- 5日 皆既月食

南

月齢
5日 ○
11日 ◐
19日 ●
27日 ◑



この日までいろいろな御苦労があったのでしよう。
クイズ。表紙の写真には写っていない研究員がいます。さて、どうしてでしょう？
(鳴沢真也)

編集後記

関係者。3月16日、新天文台2メートル望遠鏡制御室にて。

「いよいよだぞ。」「まだかな?」。緊張の一瞬。2メートル望遠鏡ファーストライト直前の様子。モニターを覗き込む天文台スタッフと望遠鏡メーカーの

2メートルのファーストライト。私には印象に残った光景があります。望遠鏡メーカーの技術者の方がファーストライト画像を拝んでいます(左の写真)。

表紙の説明